

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	重粒子線治療における Robustness Planning のための検討
	研究目的	重粒子線治療では腫瘍の増大や縮小、体型変化、臓器の位置変化などにより生じる飛程変化により線量分布が変化するため、症例によっては頻繁に再治療計画が必要となる。特に頭頸部領域では、準備期間や治療中での腫瘍増大や空洞への液体貯留に注意が必要である。体幹部領域では消化管のガスの影響に注意が必要である。本研究では、頭頸部領域では腫瘍増大や液体貯留が見込まれる空洞領域、体幹部領域では消化管ガス領域を腫瘍のCT値へ置換するCT値置換法について検討する。本研究の成果により、最適な置換値および置換範囲を設定することが可能となり、腫瘍増大、液体貯留、消化管ガスに対応した柔軟な治療計画 (Robustness Plan) が立案できるようになると考えられる。
	研究対象者	2015年12月15日から2021年7月31日までに神奈川県立がんセンターで重粒子線治療を受けた患者を対象とする。
	研究期間	西暦 2019年11月20日 ~ 西暦 2023年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (治療計画 CT画像) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	草野陽介
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	草野陽介
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし